

報告日 令和6年8月29日

報告回次 1日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会			代表者名	会長 山崎 善也（綾部市長）
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	行政運営部会事務局（舞鶴市政策推進部企画政策課内）	連絡先電話番号	0773-66-1042
担当者役職	主幹兼京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会行政運営部会部長	担当者氏名	川北 大智	連絡先E-mail	
住所	623-8501 京都府綾部市若竹町8番地の1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	舞鶴市	連絡先部署	政策推進部デジタル推進課		
担当者氏名	佐々木 周平	連絡先電話番号	0773-66-1092	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	自治体システム標準化に係る意見交換会		
概要	自治体システム標準化に関する国の最新動向等についてレクチャーおよび意見交換へのご参加をお願いしたい。				
支援を求める分野	自治体システム標準化・共通化				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年8月23日	事前打合せ&講演(実地)	11時00分	17時00分	
			活動時間（分）	360	
2-2. 派遣場所	会場名	舞鶴市役所		最寄駅	JR東舞鶴駅
	所在地	京都府舞鶴市字北吸1044番地		最寄駅からの交通手段	タクシーで5分

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">参加者の知見レベルに合わせた講演内容にいただき、有益な情報を得ることができた。参加者からの質問に丁寧に答えていただき、疑問や不安を解消することができた。
アドバイザーへの要望事項	今後もこのような機会があれば依頼をするのでご支援いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果				
4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	14人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	14	0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	令和7年度の自治体システム標準化への移行に向けて大詰めの時期を迎えているが、以前各市町とも新しい情報の収集や整理に苦慮している状況である。			
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	京都府北部5市2町のがそれぞれで行っている情報収集や整理等の作業を共有、喫緊となっている共通の課題を共に考えることで、効率的かつ確実な移行を実現して住民サービスの向上に寄与したい。			
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点での国の動向や最新情報の共有 ・情報システム担当者が今後とるべき対応の提示 ・アドバイザーと各市町情報システム担当者との意見交換 			
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	システム標準化を進める中で各市町それぞれ疑問や不安を抱えていたが、今回アドバイザーから情報提供や助言をいただいたことでそれらを解決することができ、着実なシステム移行にむけて今後とるべき対応を把握することができた。			
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。		⑦その他	
	令和7年度のシステム標準化にむけた支援であり、現段階で成果物はなし。			
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	なし			
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。			
	参加者それぞれから、有意義な機会であったとの回答であった。			
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい		⑤その他	
	今回の支援を機に京都府北部5市2町の連携をさらに強めて、システム標準化を着実に進めていく。			
4-4. 事業の最終的な目指す姿	標準化システムへの移行により、京都府北部5市2町の業務効率化と市民サービスの向上を実現する。			

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

